



データストアの管理

- データストアの管理 (1 ページ)
- データストアの追加 (2 ページ)
- データストアの編集 (3 ページ)
- データストアのマウント (3 ページ)
- データストアのマウント解除 (4 ページ)
- データストアの削除 (5 ページ)
- 部分的にマウント解除されたデータストアの回復 (6 ページ)

データストアの管理

データストアは、ストレージの使用状況とストレージリソースの管理のために HX Data Platform で使用される論理コンテナです。データストアは、ホストが仮想ディスクファイルと他の VM ファイルを配置する場所です。データストアは、物理ストレージデバイスの仕様を非表示にし、VM ファイルを格納するための統一モデルを提供します。

HX Connect UI または HX Data Platform Plug-in UI から、データストアの追加、リストの更新、名前とサイズの編集、削除、マウントおよびマウント解除ができます。マウント解除された非ペアデータストアの名前は変更できません。データストアの残りは、vCenter 管理者インターフェイスによってサポートされています。



重要

- スタートアップ遅延を回避し、複製の保持を維持するために、データストアの数をできるだけ少なくしておきます。
- 10 個を超えるデータストアを設定すると、スタートアップ遅延が過度に発生する可能性があります。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

■ データストアの追加

- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 新しいデータストアを作成するか、または既存のデータストアを選択して、オプションを表示します。

- 新しいデータストアの作成
- データストアのリストの更新
- データストア名とサイズの編集
- データストアの削除
- ホスト上のデータストアのマウント
- ホストからのデータストアのマウント解除

データストアの追加

論理コンテナ内のデータストアは、ファイルシステムと同様に、物理ストレージの仕様を非表示にし、VM ファイルを格納するための統一モデルを提供します。ISO イメージと VM テンプレートを保存するためにデータストアを使用することもできます。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。
- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 データストアを作成するように選択します。

ステップ3 データストアの名前を入力します。vSphere Web クライアントでは、データストア名に 42 文字の制限があります。各データストアに固有の名前を割り当てます。

ステップ4 データストア サイズを指定します。ドロップダウンリストから、[GB] または [TB] を選択します。

ステップ5 データのブロックサイズを指定します。HX Connect から、[8K] または [4K] を選択します。デフォルトは 8K です。HX Data Platform Plug-in では、デフォルトが想定されます。VDI ワークロードの場合、デフォルトは 4K です。

ステップ6 [OK] をクリックして変更を確定するか、[Cancel] をクリックして変更を取り消します。

ステップ7 データストアを確認します。必要に応じて [Refresh] ボタンをクリックし、新しいデータストアを表示します。

HX Data Platform Plug-in で、[Manage] > [Datastores] > [Hosts] タブをクリックして、新しいデータストアのマウント状態を確認します。

vSphere クライアントアプリケーションを介してデータストアを確認する場合、[host] > [Configuration] > [Datastores] で、[Drive Type] が `unknown` として表示されます。この vSphere の動作はあらかじめ見込まれており、NFS データストアを不明としてリストするためのものです。

データストアの編集

HX のデータプラットフォームのデータストアは、編集（鉛筆）オプションを使用して変更できます。編集オプションは次のとおりです：1 データストア名を変更するか、2 にします。データストアのストレージの割り当ての変更。つまり、データストアのサイズ変更。



(注)

コントローラ VM を使用してデータストアの名前を変更しないでください。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。
- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 [datastore] を選択します。

ステップ3 データストアをマウント解除します。

データストアのサイズだけを変更した場合は、データストアをマウント解除する必要がありません。このステップをスキップします。

ステップ4 データストアの [Edit]（鉛筆アイコン）をクリックします。

ステップ5 データストアの名前および/またはサイズを必要に応じて変更します。[OK] をクリックします。

ステップ6 以前マウント解除したデータストアを再マウントします。

データストアのマウント

データストアのマウント準備。

- VM、テンプレート、スナップショット、CD/DVD イメージはデータストアには存在しません。これは、マウント解除時の最も一般的なエラーです。
- ストレージ I/O 制御はデータストアでは無効です。
- データストアは、vSphere HA ハートビートには使用されません。

■ データストアのマウント解除

- データストアは、ホスト RDM メタデータ ファイルには使用されません。RDM はサポートされていません。
- データストアは、スクラッチのロケーションとしては使用されません。



(注) ESXi の永続的なスクラッチ ロケーションの宛先として NFS データストアを選択することはできません。永続的なスクラッチ ロケーションに HX データストアを選択すると、ESXi ホストのリード後に削除されます。

すべての M5 サーバについては、スクラッチとして使用するため M.2 ブート SSD が自動的に選択されます。これは、新しいインストールのボックスから設定されます。

HX240M4 (非 SED) の場合、固定ログ/スクラッチに Intel SSD が使用されます (220M5/240M5 では同じですが、異なるローカル SSD にも適用されます)。

HX220M4 および HX240M4 (SED) の場合、スクラッチ パーティションを保存する場所はありません。そのため、唯一のオプションは、ネットワーク上の永続的なロギングに syslog を使用することです。

データストアのマウント。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。
- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 [datastore] を選択します。

ステップ3 [Mount] をクリックします。

ステップ4 データストアのマウントを確認し、[OK] をクリックします。

データストアのマウント解除

データストアのマウント解除の準備。

- VM、テンプレート、スナップショット、CD/DVD イメージはデータストアには存在しません。これは、マウント解除時の最も一般的なエラーです。
- ストレージ I/O 制御はデータストアでは無効です。

- データストアは、vSphere HA ハートビートには使用されません。
- データストアは、ホスト RDM メタデータ ファイルには使用されません。RDM はサポートされていません。
- データストアは、スクラッチのロケーションとしては使用されません。

データストアのマウント解除。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。
- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 [datastore] を選択します。

ステップ3 [Unmount] をクリックします。

ステップ4 データストアのマウント解除を確認し、[OK] をクリックします。

ステップ5 必要に応じて部分的なマウント解除から回復。

- 上記のチェックリストに従って、UI または CLI のいずれかを使用してマウント解除するか削除します。
- データストアを再マウントするには、UI または CLI を使用します。

一部のマウント解除の詳細または回復については、[部分的にマウント解除されたデータストアの回復 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

データストアの削除

データストアを削除する準備をします。

- すべての VM の電源をオフにします。
- データストア マウント ポイント上のすべてのオーブン シェルを閉じます。
- データストアの HA を無効にします。
- データストアを使用するすべてのアプリケーションを閉じます。

データストアを削除します。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

- vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

■ 部分的にマウント解除されたデータストアの回復

- HX Connect から、[データストア (Datastores)] を選択します。

ステップ2 [datastore] を選択します。

ステップ3 [Delete] をクリックします。

ステップ4 データストアの削除を確認し、[OK] をクリックします。

部分的にマウント解除されたデータストアの回復

データストアをマウント、マウント解除、または削除すると、データストアが部分的にマウント解除される場合があります。この状態が発生した場合は、必要に応じて、次の手順を実行します。

ステップ1 試みているタスクに応じて、データストアのマウントの準備、データストアのマウント解除の準備、またはデータストアの削除の準備にある項目を実行します。

ステップ2 もう一度、HX Connect または HX Data Platform Plug-in の UI または CLI を介して、データストアのマウント、マウント解除、削除を試します。

ステップ3 データストアが、必要なマウント状態、マウント解除状態、または削除状態になっていない場合は、次の手順を実行します。

- VM がデータストアで実行されていないことを確認します。
- ESX ホストから、HX Data Platform のデータストアが VMware サービス `storageRM` で使用されているかどうかを確認します。

```
# ls -l /vmfs/volumes/stfs-ds1/ | grep -i iorm
```

サンプル応答

```
-rwxr-xr-x 1 root root 16511 Jan 20 20:05 .iormstats.sf
drwxr-xr-x 1 root root 1125 Jan 20 20:06 .iorm.sf
```

- `storageRM` のステータスを確認します。

```
# /etc/init.d/storageRM status
```

サンプル応答

```
storageRM is running
```

- `storageRM` サービスを停止します。

```
# /etc/init.d/storageRM stop
```

サンプル応答

```
watchdog-storageRM: Terminating watchdog process with PID 34096
storageRM stopped
```

- e) もう一度、データストアのマウント、マウント解除、または削除を試みます。
 - f) 可能なソリューションはこれ1つです。これで問題が解決しない場合は、テクニカルアシスタンスセンター (TAC) にお問い合わせください。
-

■ 部分的にマウント解除されたデータストアの回復